

2008 年度

科目名 国文学演習Ⅳ	対象学科・学年 研究科前国 1 回生 研究科後国 1 回生	担当者 高橋 圭一
授業テーマ 江戸の写本を読む。		
授業の概要と目標 江戸時代の講釈師が読んだそのままを写した、いわゆる講談丸本は今までほとんど翻刻されていません。高橋架蔵の大岡政談、天一坊物の一作『享保太平記』を、高橋を含め受講者全員で翻字します。ある程度の分量に達すれば、活字化します。		
評価方法 翻字の出来具合で評価しますが、出席も重視します。		
テキスト コピーを配布します。	著者	出版社
参考書 『くずし字用例辞典』は持つておくべきです。	著者 児玉幸多（編）	出版社 東京堂出版
授業スケジュール・内容 1、講義。実録概説。 2、続き。実録と講釈。 3、続き。丸本と点取り。 4、翻刻開始。高橋による翻字。 以降、一年間翻字を続けます。翻字は文字を読むことより、文脈を読むことの方が大切で、難しいのです。また、江戸語をたくさん知っていればいるほど、ラクになります。活字化された江戸文学を普段から読んでおくことが何より重要です。		